



市議会11月定例会・1月臨時会で可決

11月24日～12月20日、1月12日～13日に開催されました市議会定例会、臨時会において、吹田市新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン関連などの予算が可決されました。主な内容をお知らせします。

〔11月定例会〕

予算案件

新型コロナウイルスワクチン 予防接種事業

新型コロナウイルスワクチン3回目接種体制確保に係る費用。 **6億3852万円**

子育て世帯に臨時特別給付金を支給

児童手当を受給する世帯などに対し、生活支援のため、児童1人当たり10万円を支給。 **53億5915万円**

学校教育情報通信ネットワーク再構築業務

給食費など学校徴収金の一括徴収化に伴うシステム導入や教職員人事情報システムの再構築などに係る費用。 **24億7913万円**

〔1月臨時会〕

予算案件

市独自で子育て世帯への臨時特別給付金の支給

児童手当の所得制限限度額

を超える世帯など、国の施策の支給対象とならない世帯について、市独自で給付金を支給。 **6億5570万円**

住民税非課税世帯などに臨時特別給付金を支給

住民税均等割が非課税の世帯などに1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給。 **56億9548万円**

すいたん公式LINEスタンプ第2弾発売

吹田市イメージキャラクター「すいたん」の公式LINEスタンプ第2弾を、2月中旬より発売予定です。今回は、柔らかく親しみやすいイラストで「おはようございます」「や「おつかれさま」など、使いやすいあいさつやリアクションを多く取り入れたデザ

インです。LINEアプリ内のスタンプショップから、40種類1セット120円(50LINEコイン)で購入できます。



詳しくはこちら

こんにちは



おつかれさま。



スタンプ一例



市長コラム No.78

こもれび通り

家事

後藤圭二



コラムの音声版はこちら

学生時代、実験室暮らしをしていた私は「準備8割」と教え込まれてきました。実験器具をそろえて洗浄し、再確認して初めて責任ある分析に着手できる、ということです。

家事なるものを考えてみます。それは健康で清潔な環境を保ち、社会の一員として必要な手続き、いわば生活の「準備」作業と言えます。一人暮らしの時は、それが面倒で苦手でした。

しかし、結婚して子育て時期に入ると、家事の種類と量は格段に増えていきました。手間はかかれど、技術的に出来ない家事はまずありません。しかし、率先して家事をしてもやり方がパートナーの流儀と異なると、心からの「ありがとう」は得られま

せん。そして気付いたのです。パートナーが求めているのは自己満足な完成度ではなく、流儀に沿ったフットワークの軽さだったのだ、と。

そんな日々から私は大切な事を学びました。家事なるものは「単なる作業」ではなく、共に生きることそのものであり「幸せ」というものを形作る上で決しておろそかにしてはいけない、ということです。単調に見える事務仕事なしに、大きな仕事成り立たないのと同じです。

だからこそ、例えば週2回のごみ出しや風呂掃除が、これから少しでも面倒に感じるようになったら、パートナーとしてはもちろん、市長としても要注意なのだと思うのです。

